

柳原麻子¹: 報告—第48回日本植生史学会談話会Asako Yanagihara¹: Report—The 48th forum of the Japanese Association of Historical Botany

2020年は新型コロナウイルス (Covid-19) の世界的な感染拡大に伴い、日本国内においても遠距離の移動や大人数での集会在厳しく制限された年であった。2020年10月30・31日に開催が予定されていた山梨県での日本植生史学会大会も、感染症拡大防止対策のためオンライン開催に変更された。

そうした状況下において、第48回日本植生史学会談話会がZoomミーティングを介した大型植物遺体の同定会が日本植生史学会の初めての試みとして実施された。開催日時は2020年12月19日(土) 10:00~17:00であり、世話人は百原新氏(千葉大学)・那須浩郎氏(岡山理科大学)である。参加者は主催者2名を除いて28名であった。

同定会では事前に参加者から郵送で提出された大型植物遺体や土器の種実圧痕のレプリカを那須氏研究室の顕微鏡の画像を共有しながら参加者全員で検討した。共有した画像は実体顕微鏡(Nikon SMZ1270)と顕微鏡デジタルカメラ(Nikon DS-Fi3)をPCに接続して提示したもので、画像統合ソフトウェア(Nikon NIS-Elements)により画面の深度合成や計測を行うこともできる(図1)。

今回は4名の参加者から21点の試料が提出された。試料は時期・地域ともに幅広く、時期としては中期更新世か

ら古墳時代に至り、地域としては国内では東京都・愛知県・滋賀県・鹿児島県、海外では中東地域のアゼルバイジャンの試料もあった。

開催当日はまず百原氏・那須氏による挨拶と趣旨説明があった。百原氏からは、大型植物遺体の同定においては対象試料の種名だけでなく、観察のポイントとなる部位に名前を付けるプロセスが重要であり、今回の同定会では通常同定の際に無意識に使用されやすいこれらの名前について、改めて観察者同士で確認したいと説明があった。

そのため同定会ではまず、百原氏・那須氏から、対象試料と同種の現生標本を顕微鏡で観察しながら、種実の部位の名称や、同定のポイントについて説明がなされた。その後実際の試料を観察し、現生標本と比較しながら同定を行った(図2)。

通常、複数人で試料を検討する際には顕微鏡を回し見ながら口頭で説明されることが多く、情報の共有が難しいこともある。しかし、今回は画面上で顕微鏡の画像を共有することができたため、観察者がどの部位や形態に着目しているかの理解が容易にできた。また、画面の切り替えによって、顕微鏡の画像だけでなくMicrosoft PowerPoint[®]の資料や手描きの図解なども共有しながら議論がしやすい点も



図1 画像共有に用いた実体顕微鏡(写真提供: 那須浩郎先生)。

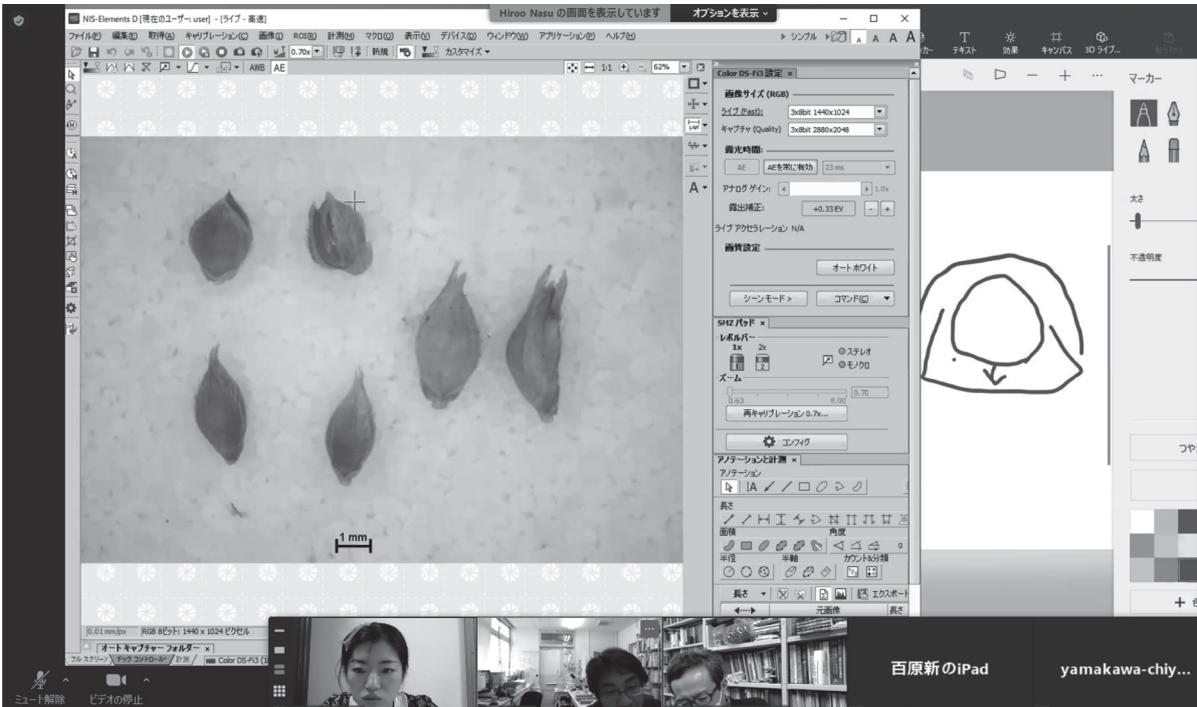


図 2 Zoom ミーティングによる大型植物遺体同定会.

オンラインの利点であると感じた。

一方で次のような課題もあった。まず、今回は実体顕微鏡の画像を共有して行ったが、試料の実際の立体感やサイズ感、およびより詳細な細部の観察など、実体顕微鏡では扱えない観察視点が、実体顕微鏡の画像では検討できないという点である。例えば今回の対象試料の中には炭化鱗茎類があったが、同定のポイントとして葉肉細胞の形態や、シュウ酸カルシウムの針状結晶の有無を確認する必要があるため、後日、電子顕微鏡によってそうした詳細を観察する必要が生じた。試料によっては改めて専門家が実見しなければならないものもあるだろう。

また、Zoom ミーティングは、通信容量を減らすためにビデオと音声をオフにした状態で観覧することになるが、そうすると参加者の反応が見えづらい。そうした点で、これまでの研究会や試料検討会にはなかった独特の雰囲気であったといえる。

19:00 からは Zoom ミーティングにより懇親会が行われ

た。懇親会においても参加者が各自の近況報告を写真や資料を共有しながら行うなどオンラインならではの楽しみ方ができた。

今回の同定会では大型植物遺体の場合、遠隔地でも大人数で試料の検討ができることが確認できた。今回は種実の試料を検討したが、同じく実体顕微鏡を用いる樹種同定や花粉分析など様々な試料の分析への応用も期待された。

今回、長時間にも関わらず、試料の一点一点を丁寧に検討し、さらに時には手書きの図を交えてわかりやすく解説をしてくださった講師の百原新先生、那須浩郎先生、本当にありがとうございました。コロナウイルス感染症の拡大が収束し、また文字通りの頭を突き合わせた議論ができる日が来ることを切に願います。

(〒520-8575 滋賀県大津市御陵町 3-1 大津市教育委員会
Otsu City Board of Education, 3-1 Goryocho, Otsu 520-8575, Japan)